

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	石狩空知森林計画区 （いしかりそらち） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署												
事業の概要・目的	<p>石狩空知森林計画区は、北海道の中央よりやや西寄りに所在する447千haの国有林野を対象としており、このうち、石狩森林管理署の管轄区域は173千haである。</p> <p>当管轄区域の立地条件等は多様であるが、札幌市を中心とした都市圏を抱え、市街地の拡大に伴って、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>2,190 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>12,736 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>13.2 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4.4 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	2,190 (ha)		保育面積	12,736 (ha)	路網整備	開設延長	13.2 (km)		改良延長	4.4 (km)
森林整備	更新面積	2,190 (ha)													
	保育面積	12,736 (ha)													
路網整備	開設延長	13.2 (km)													
	改良延長	4.4 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	462,032（千円）													
	総便益（B）	水源かん養便益	2,435,479（千円）												
		山地保全便益	856,191（千円）												
		環境保全便益	213,265（千円）												
		木材生産便益	1,670,982（千円）												
		森林整備経費縮減等便益	405,880（千円）												
		計	5,581,797（千円）												
	分析結果（B/C）	12.08													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	石狩空知森林計画区 （いしかりそらち） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署												
事業の概要・目的	<p>石狩空知森林計画区は、北海道の中央よりやや西寄りに所在する447千haの国有林野を対象としており、このうち空知森林管理署の管轄区域は189千haである。</p> <p>当管轄区域は、夕張山系等に囲まれ優れた自然環境を有しており、また主な河川が石狩川に合流する地域であるため、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">2,833 (ha)</td> <td style="width: 10%;">保育面積</td> <td style="width: 10%;">20,483 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>30.5 (km)</td> <td>改良延長</td> <td>4.1 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	2,833 (ha)	保育面積	20,483 (ha)		路網整備	開設延長	30.5 (km)	改良延長	4.1 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	2,833 (ha)	保育面積	20,483 (ha)										
	路網整備	開設延長	30.5 (km)	改良延長	4.1 (km)										
費用対効果分析	総費用（C）	996,383（千円）													
	総便益（B）	水源かん養便益	5,485,039（千円）												
		山地保全便益	4,725,574（千円）												
		環境保全便益	469,884（千円）												
		木材生産便益	3,870,806（千円）												
		森林整備経費縮減等便益	2,550,290（千円）												
		計	17,101,593（千円）												
	分析結果（B / C）	17.16													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	上川北部森林計画区 (かみかわほくぶ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 上川北部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>上川北部森林計画区は、164,666haの国有林野を対象としており、林分の概況は、天然林が75%を占めミズナラ、シナノキ、カンバ類等及びトドマツからなる針広混交林が主体となっている。人工林は、トドマツを主体に造成されてきたが、昭和30年以降に造成された比較的若い森林が多い。当該地域は天塩川水系の源流域を形成するほか天塩岳道立自然公園、笹の平森林スポーツ林等があり、自然維持・保全への要請も高い。また、国有林野の71%が水土保全林で水土保全林のうち水源かん養タイプが75%となっており、公益的機能の発揮への要請も高い。これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な施業管理を行なうことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">森林整備</td> <td style="padding-left: 20px;">更新面積</td> <td style="padding-left: 20px;">1,915ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-left: 20px;">保育面積</td> <td style="padding-left: 20px;">30,632ha</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">路網整備</td> <td style="padding-left: 20px;">新設延長</td> <td style="padding-left: 20px;">102.9km</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-left: 20px;">改良延長</td> <td style="padding-left: 20px;">17.1km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	1,915ha		保育面積	30,632ha	路網整備	新設延長	102.9km		改良延長	17.1km
森林整備	更新面積	1,915ha													
	保育面積	30,632ha													
路網整備	新設延長	102.9km													
	改良延長	17.1km													
費用対効果分析	総費用(C)	962,154 (千円)													
	総便益(B)														
	水源かん養便益	656,412 (千円)													
	山地保全便益	555,299													
	環境保全便益	21,551													
	木材生産便益	68,873													
	森林整備経費縮減等便益	1,364,326													
	計	2,666,461													
	分析結果(B/C)	2.77													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度									
事業実施地区名 （都道府県名）	石狩空知森林計画区 （いしかりそらち） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 空知森林管理署 北空知支署									
事業の概要・目的	<p>石狩空知森林計画区の空知森林管理署北空知支署管内は、67,266haである。林分の概況は、トドマツ、ミズナラ、カンバ類等の針広混交林となっている。人工林は、トドマツを主体に造成されてきたが、昭和30年以降に造成された比較的若い森林が多い。雨竜川の流域の右岸上流部周辺は道内屈指の豪雪地帯であり、一部の区域には、崩壊地もあり山地災害防止機能の必要性が高い。恵岱別川上流には野外スポーツ地域、暑寒別天売焼尻国定公園等があり優れた自然景観を有している。また、朱鞠内湖や沼田ダムをかかえていることから国有林野の75%が水土保全林で水土保全林のうち水源かん養タイプが79%となっており、公益的機能の発揮への要請も高い。これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な施業管理を行なうことを目的とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">森林整備</td> <td style="padding-right: 10px;">更新面積</td> <td>135ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-right: 10px;">保育面積</td> <td>5,662ha</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">路網整備</td> <td style="padding-right: 10px;">改良延長</td> <td>2.3km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	135ha		保育面積	5,662ha	路網整備	改良延長	2.3km
森林整備	更新面積	135ha										
	保育面積	5,662ha										
路網整備	改良延長	2.3km										
費用対効果分析	総費用（C）	149,198（千円）										
	総便益（B）											
	水源かん養便益	652,681（千円）										
	山地保全便益	320,220										
	環境保全便益	0										
	木材生産便益	4,271										
	森林整備経費縮減等便益	40,091										
	計	1,017,263										
	分析結果（B/C）	6.82										
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	後志胆振森林計画区 （しりべしいぶり） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局函館分局 後志森林管理署												
事業の概要・目的	<p>後志・胆振森林計画区は、130,521haの国有林野を対象としており、林分内容は、トドマツ、カラマツの人工林のほか、エゾマツ、ナラ等の天然林である。対象区域は約60%が保安林に指定されており、また支笏洞爺国立公園やニセコ積丹小樽海岸国定公園の指定地も含まれ、自然環境の維持、保全の要請が高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>43 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,278 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>15.4 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.5 km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	43 ha		保育面積	1,278 ha	路網整備	開設延長	15.4 km		改良延長	0.5 km
森林整備	更新面積	43 ha													
	保育面積	1,278 ha													
路網整備	開設延長	15.4 km													
	改良延長	0.5 km													
費用対効果分析	総費用（C）	544,803（千円）													
	総便益（B）	（千円）													
	水源かん養便益	1,020,596													
	国土保全便益	488,845													
	環境保全便益	21,050													
	林業生産便益	774,142													
	森林整備経費縮減等便益	253,614													
	計	2,558,247													
	分析結果（B/C）	4.70													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために、本事業の実施が必要である。 ・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	米代川森林計画区 （よねしろがわ） （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>米代川森林計画区(米代東部森林管理署)は、秋田県県北部に所在する100,677haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>219 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,799 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>23.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.4 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	219 (ha)		保育面積	4,799 (ha)	路網整備	開設延長	23.5 (km)		改良延長	0.4 (km)
森林整備	更新面積	219 (ha)													
	保育面積	4,799 (ha)													
路網整備	開設延長	23.5 (km)													
	改良延長	0.4 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	987,810千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>3,301,241千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>1,295,874千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>214,935千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>2,841,243千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>754,487千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,407,780千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	3,301,241千円	山地保全便益	1,295,874千円	環境保全便益	214,935千円	木材生産便益	2,841,243千円	森林整備経費縮減等便益	754,487千円	計	8,407,780千円
	水源かん養便益	3,301,241千円													
山地保全便益	1,295,874千円														
環境保全便益	214,935千円														
木材生産便益	2,841,243千円														
森林整備経費縮減等便益	754,487千円														
計	8,407,780千円														
分析結果（B/C）	8.51														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	米代川森林計画区 （よねしろがわ） （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署												
事業の概要・目的	<p>米代川森林計画区（米代東部森林管理署上小阿仁支署）は、秋田県北部に所在する63,469haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>340（ha）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,929（ha）</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.8（km）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.0（km）</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	340（ha）		保育面積	2,929（ha）	路網整備	開設延長	4.8（km）		改良延長	0.0（km）
森林整備	更新面積	340（ha）													
	保育面積	2,929（ha）													
路網整備	開設延長	4.8（km）													
	改良延長	0.0（km）													
費用対効果分析	総費用（C）	736,084千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,466,972千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>602,961千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>129,245千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>877,697千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>136,537千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,213,412千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,466,972千円	山地保全便益	602,961千円	環境保全便益	129,245千円	木材生産便益	877,697千円	森林整備経費縮減等便益	136,537千円	計	3,213,412千円
	水源かん養便益	1,466,972千円													
山地保全便益	602,961千円														
環境保全便益	129,245千円														
木材生産便益	877,697千円														
森林整備経費縮減等便益	136,537千円														
計	3,213,412千円														
分析結果（B/C）	4.37														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	米代川森林計画区 (よねしろがわ) (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 米代西部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>米代川森林計画区(米代西部森林管理署)は、秋田県北西部に所在する45,188haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等(奥地林・里山林)は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">主な事業内容</td> <td style="padding-right: 10px;">森林整備</td> <td style="padding-right: 10px;">更新面積</td> <td>413(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,338(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>5.6(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.0(km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	413(ha)			保育面積	4,338(ha)		路網整備	開設延長	5.6(km)			改良延長	0.0(km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	413(ha)																
		保育面積	4,338(ha)																
	路網整備	開設延長	5.6(km)																
		改良延長	0.0(km)																
費用対効果分析	総費用(C)	989,444千円																	
	総便益(B)	水源かん養便益	1,712,133千円																
		山地保全便益	796,539千円																
		環境保全便益	165,886千円																
		木材生産便益	701,298千円																
		森林整備経費縮減等便益	146,039千円																
		計	3,521,895千円																
	分析結果(B/C)	3.56																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	庄内森林計画区 (しょうない) (山形県)	事業実施主体	東北森林管理局 庄内森林管理署																
事業の概要・目的	<p>庄内森林計画区は、山形県北西部に所在する92,675haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">主な事業内容</td> <td style="padding-right: 10px;">森林整備</td> <td style="padding-right: 10px;">更新面積</td> <td>125 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,287 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.6 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.0 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	125 (ha)			保育面積	1,287 (ha)		路網整備	開設延長	6.6 (km)			改良延長	0.0 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	125 (ha)																
		保育面積	1,287 (ha)																
	路網整備	開設延長	6.6 (km)																
		改良延長	0.0 (km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	445,052千円																	
	総便益 (B)	水源かん養便益	713,477千円																
		山地保全便益	241,261千円																
		環境保全便益	49,414千円																
		木材生産便益	540,341千円																
		森林整備経費縮減等便益	205,419千円																
		計	1,749,912千円																
	分析結果 (B / C)	3.93																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	北上川中流森林計画区 （きたかみがわちゅうりゅう） （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局青森分局 岩手南部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>北上川中流森林計画区（岩手南部森林管理署分）は、岩手県中央部を流れる北上川の東側に位置する北上高地と西側に位置する奥羽山脈に所在し、114,130haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>349 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,167 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>27.9 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td></td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	349 (ha)		保育面積	2,167 (ha)	路網整備	開設延長	27.9 (km)		改良延長	
森林整備	更新面積	349 (ha)													
	保育面積	2,167 (ha)													
路網整備	開設延長	27.9 (km)													
	改良延長														
費用対効果分析	総費用（C）	969,011千円													
	総便益（B）														
		水源かん養便益	2,041,265千円												
	山地保全便益	929,130千円													
	環境保全便益	108,647千円													
	木材生産便益	856,614千円													
	森林整備経費縮減等便益	318,700千円													
	計	4,254,356千円													
	分析結果（B / C）	4.39													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	北上川中流森林計画区 （きたかみがわちゅうりゅう） （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局青森分局 岩手南部森林管理署遠野支署												
事業の概要・目的	<p>北上川中流森林計画区（遠野支署分）は、岩手県中央部を流れる北上川の東側に位置する北上高地に所在し36,378haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>312（ha）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,934（ha）</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>19.0（km）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td></td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	312（ha）		保育面積	1,934（ha）	路網整備	開設延長	19.0（km）		改良延長	
森林整備	更新面積	312（ha）													
	保育面積	1,934（ha）													
路網整備	開設延長	19.0（km）													
	改良延長														
費用対効果分析	総費用（C）	932,522千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,908,440千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>868,673千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>121,053千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>830,991千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>200,600千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,929,757千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,908,440千円	山地保全便益	868,673千円	環境保全便益	121,053千円	木材生産便益	830,991千円	森林整備経費縮減等便益	200,600千円	計	3,929,757千円
	水源かん養便益	1,908,440千円													
山地保全便益	868,673千円														
環境保全便益	121,053千円														
木材生産便益	830,991千円														
森林整備経費縮減等便益	200,600千円														
計	3,929,757千円														
分析結果（B/C）	4.21														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	磐城森林計画区 （いわき） （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 磐城森林管理署												
事業の概要・目的	<p>磐城森林計画区は、福島県の東部に所在する、86,320haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、太平洋と阿武隈山系に挟まれた浜通りと呼ばれる地域であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>1,880 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>11,520 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>37.4 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>11.6 km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	1,880 ha		保育面積	11,520 ha	路網整備	開設延長	37.4 km		改良延長	11.6 km
森林整備	更新面積	1,880 ha													
	保育面積	11,520 ha													
路網整備	開設延長	37.4 km													
	改良延長	11.6 km													
費用対効果分析	総費用（C）	990,517（千円）													
	総便益（B）														
	水源かん養便益	2,152,696（千円）													
	国土保全便益	609,595（千円）													
	環境保全便益	7,351（千円）													
	木材生産便益	3,078,513（千円）													
	森林整備経費縮減等便益	780,100（千円）													
	計	6,628,255（千円）													
	分析結果（B/C）	6.69													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業とみとめられる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものとみとめられる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	吾妻森林計画区 （あがつま） （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 吾妻森林管理署												
事業の概要・目的	<p>吾妻森林計画区は、群馬県北西部に所在する57,360haの国有林を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>226ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,070ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.8km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.5km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	226ha		保育面積	1,070ha	路網整備	開設延長	4.8km		改良延長	1.5km
森林整備	更新面積	226ha													
	保育面積	1,070ha													
路網整備	開設延長	4.8km													
	改良延長	1.5km													
費用対効果分析	総費用（C）	312,188（千円）													
	総便益（B）	688,484（千円）													
	分析結果（B/C）	3.62													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業とみとめられる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものとみとめられる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	中越森林計画区 （ちゅうえつ） （新潟県）	事業実施主体	関東森林管理局 中越森林管理署												
事業の概要・目的	<p>中越森林計画区は、新潟県の中央部に所在する104,350haの国有林を対象としている。</p> <p>当計画区は、我が国有数の豪雪地帯で立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>46ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>349ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.4km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>28.5km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	46ha		保育面積	349ha	路網整備	開設延長	3.4km		改良延長	28.5km
森林整備	更新面積	46ha													
	保育面積	349ha													
路網整備	開設延長	3.4km													
	改良延長	28.5km													
費用対効果分析	総費用（C）	253,874（千円）													
	総便益（B）	421,762（千円）													
	分析結果（B/C）	3.46													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業とみとめられる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものとみとめられる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	埼玉森林計画区 （さいたま） （埼玉県）	事業実施主体	関東森林管理局東京分局 埼玉森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>埼玉森林計画区は、埼玉県北部・中部に所在する11,991haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>16 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>110 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.8 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	16 (ha)		保育面積	110 (ha)	路網整備	開設延長	0.0 (km)		改良延長	1.8 (km)
森林整備	更新面積	16 (ha)													
	保育面積	110 (ha)													
路網整備	開設延長	0.0 (km)													
	改良延長	1.8 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	360,108千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>126,042千円</td> </tr> <tr> <td>国土保全便益</td> <td>37,854千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>9,264千円</td> </tr> <tr> <td>林業生産便益</td> <td>393,713千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>20,416千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>587,289千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	126,042千円	国土保全便益	37,854千円	環境保全便益	9,264千円	林業生産便益	393,713千円	森林整備経費縮減等便益	20,416千円	計	587,289千円
	水源かん養便益	126,042千円													
国土保全便益	37,854千円														
環境保全便益	9,264千円														
林業生産便益	393,713千円														
森林整備経費縮減等便益	20,416千円														
計	587,289千円														
分析結果（B/C）	1.63														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	神奈川県 （神奈川県）	事業実施主体	関東森林管理局東京分局 東京神奈川森林管理署												
事業の概要・目的	<p>神奈川県森林計画区は、神奈川県西部・東部に所在する9,080haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>3 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>190 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.4 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.2 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	3 (ha)		保育面積	190 (ha)	路網整備	開設延長	0.4 (km)		改良延長	0.2 (km)
森林整備	更新面積	3 (ha)													
	保育面積	190 (ha)													
路網整備	開設延長	0.4 (km)													
	改良延長	0.2 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	119,485千円													
	総便益（B）	342,204千円													
		665,468千円													
	水源かん養便益	342,204千円													
	国土保全便益	96,518千円													
	環境保全便益	18,366千円													
	林業生産便益	134,027千円													
	森林整備経費縮減等便益	74,353千円													
	計	665,468千円													
	分析結果（B/C）	5.57													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	伊那谷森林計画区 （いなだに） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局南信森林管理署												
事業の概要・目的	<p>伊那谷森林計画区は、長野県南東部で天竜川及び富士川の上流部に所在する78,034haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件は奥地林であるが、木材等の生産はもとより、国土保全、水源のかん養、自然環境保全、レクリエーションの場の提供等といった森林の有する公益的機能の発揮が特に求められる地域である。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>190ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,093ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.3km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.4km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	190ha		保育面積	1,093ha	路網整備	開設延長	2.3km		改良延長	2.4km
森林整備	更新面積	190ha													
	保育面積	1,093ha													
路網整備	開設延長	2.3km													
	改良延長	2.4km													
費用対効果分析	総費用（C）	523,632（千円）													
	総便益（B）	1,144,239（千円）													
		7.36													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林野施業実施計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	東三河森林計画区 （ひがしみかわ） （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局 名古屋分局 愛知森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>東三河計画区は、7,642haの国有林を対象としている。林分内容はスギ、ヒノキ等の人工林率が92%と極めて高く、天然林は、ナラ、ブナ等の広葉樹林がその65%を占めている。このほか、天竜奥三河国定公園、段戸高原県立自然公園及び石巻山多米県立自然公園の指定地も含んでおり、自然環境の維持、保全への要請が高い。また、国有林野の15%が土砂流出防備等の保安林に指定されているが、今後拡大して行く予定であり、公益的機能の発揮への要請も高い。これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な施業管理を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>5.6 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,326 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.9 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.2 km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	5.6 ha		保育面積	1,326 ha	路網整備	開設延長	6.9 km		改良延長	1.2 km
森林整備	更新面積	5.6 ha													
	保育面積	1,326 ha													
路網整備	開設延長	6.9 km													
	改良延長	1.2 km													
費用対効果分析	総費用（C）	563,292千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,276,532千円</td> </tr> <tr> <td>国土保全便益</td> <td>426,479千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>43,039千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>585,833千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>231,931千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,563,814千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,276,532千円	国土保全便益	426,479千円	環境保全便益	43,039千円	木材生産便益	585,833千円	森林整備経費縮減等便益	231,931千円	計	2,563,814千円
	水源かん養便益	1,276,532千円													
国土保全便益	426,479千円														
環境保全便益	43,039千円														
木材生産便益	585,833千円														
森林整備経費縮減等便益	231,931千円														
計	2,563,814千円														
分析結果（B/C）	4.55														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	木曽川森林計画区 （きそがわ） （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 名古屋分局 東濃森林管理署												
事業の概要・目的	<p>木曽川森林計画区は、20,932haの国有林を対象としている。林分内容はスギ、ヒノキの人工林の外、ヒノキ、サワラ、ナラ等の天然林も多く、裏木曽県立自然公園や胞山県立自然公園の指定地も含んでおり、自然環境の維持、保全への要請が高い。また、国有林野の97%が水源かん養、土砂流出防備等の保安林に指定されており、公益的機能の発揮への要請も高い。これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な施業管理を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>8.8 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,570 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.0 km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	8.8 ha		保育面積	2,570 ha	路網整備	開設延長	0.6 km		改良延長	3.0 km
森林整備	更新面積	8.8 ha													
	保育面積	2,570 ha													
路網整備	開設延長	0.6 km													
	改良延長	3.0 km													
費用対効果分析	総費用（C）	479,138千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>2,096,682千円</td> </tr> <tr> <td>国土保全便益</td> <td>627,387千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>78,278千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>678,760千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>115,531千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,596,638千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	2,096,682千円	国土保全便益	627,387千円	環境保全便益	78,278千円	木材生産便益	678,760千円	森林整備経費縮減等便益	115,531千円	計	3,596,638千円
	水源かん養便益	2,096,682千円													
国土保全便益	627,387千円														
環境保全便益	78,278千円														
木材生産便益	678,760千円														
森林整備経費縮減等便益	115,531千円														
計	3,596,638千円														
分析結果（B/C）	7.51														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	若狭森林計画区（わかさ） （福井県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署												
事業の概要・目的	<p>若狭森林計画区は、7,421haの国有林野を対象としており、林分内容はスギ、ヒノキの人工林の外、モミ、ツガ、ブナ等の天然林も多く「気比の松原」等の風景林もあり、自然環境の維持保全への要請が高い。</p> <p>また国有林の97%が水源かん養保安林となっており、公益的機能への要請も高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>162(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	(ha)		保育面積	162(ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	(ha)													
	保育面積	162(ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	39,746千円													
	総便益(B)	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>207,915千円</td> </tr> <tr> <td>国土保全便益</td> <td>72,936千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>7,259千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>11,979千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>300,089千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	207,915千円	国土保全便益	72,936千円	環境保全便益	7,259千円	木材生産便益	11,979千円	森林整備経費縮減等便益	千円	計	300,089千円
	水源かん養便益	207,915千円													
国土保全便益	72,936千円														
環境保全便益	7,259千円														
木材生産便益	11,979千円														
森林整備経費縮減等便益	千円														
計	300,089千円														
分析結果(B/C)	7.55														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	尾鷲熊野森林計画区 （おわせくまの） （三重県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署																
事業の概要・目的	<p>尾鷲熊野森林計画区は、10,443haの国有林野を対象としており、台高山脈南部と熊野灘に面した海岸部に位置する。</p> <p>当該計画区は、我が国屈指の多雨地帯であり、水源かん養機能の確保や国土保全に重要な役割を担っており、公益的機能の発揮への要請も高い。</p> <p>また吉野熊野国立公園の指定地も含んでおり、自然環境の維持、保全への要請が高い。</p> <p>当該計画区の特徴として、先進林業地として林業生産活動が盛んである。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>60 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,388 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.6 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.7 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	60 (ha)			保育面積	1,388 (ha)		路網整備	開設延長	4.6 (km)			改良延長	0.7 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	60 (ha)																
		保育面積	1,388 (ha)																
	路網整備	開設延長	4.6 (km)																
		改良延長	0.7 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	869,652千円																	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,170,247千円																
		国土保全便益	727,047千円																
		環境保全便益	69,654千円																
		木材生産便益	1,330,365千円																
		森林整備経費縮減等便益	152,568千円																
		計	6,449,881千円																
	分析結果（B / C）	7.42																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	湖南森林計画区（こなん） （滋賀県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署												
事業の概要・目的	<p>湖南森林計画区は、6,935haの国有林野を対象としており、滋賀県南部に所在する。 当該国有林は、琵琶湖に注ぐ河川の源流部に位置するほか、大津市市街の後背の森林等、自然環境の維持、保全及び公益的機能発揮への要請も高い。 これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>3 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>478 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	3 (ha)		保育面積	478 (ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	3 (ha)													
	保育面積	478 (ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用（C）	96,546千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>740,605千円</td> </tr> <tr> <td>国土保全便益</td> <td>298,999千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>26,729千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>88,457千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,154,790千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	740,605千円	国土保全便益	298,999千円	環境保全便益	26,729千円	木材生産便益	88,457千円	森林整備経費縮減等便益	千円	計	1,154,790千円
	水源かん養便益	740,605千円													
国土保全便益	298,999千円														
環境保全便益	26,729千円														
木材生産便益	88,457千円														
森林整備経費縮減等便益	千円														
計	1,154,790千円														
分析結果（B/C）	11.96														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	淀川上流森林計画区 （よどがわじょうりゅう） （京都府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所																
事業の概要・目的	<p>淀川上流森林計画区は、1,838haの国有林野を対象としており、京都市周辺及び京都市南部に所在する。</p> <p>当該計画区の国有林は、日本を代表する古都京都の主要な景勝地として、あるいは、神社仏閣の背景として多くの国民に親しまれてきた森林が多く、自然環境の維持、保全等、公益的機能の発揮への要請も高い。</p> <p>これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 55%;">36 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>229 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	36 (ha)			保育面積	229 (ha)		路網整備	開設延長	(km)			改良延長	(km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	36 (ha)																
		保育面積	229 (ha)																
	路網整備	開設延長	(km)																
		改良延長	(km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	36,058千円																	
	総便益 (B)	水源かん養便益	290,487千円																
		国土保全便益	99,829千円																
		環境保全便益	2,481千円																
		木材生産便益	10,108千円																
		森林整備経費縮減等便益	千円																
		計	402,905千円																
	分析結果 (B / C)	11.17																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	大和・木津川森林計画区 （やまと・きづがわ） （奈良県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>大和木津川森林計画区は、909haの国有林野を対象としており、奈良県北部に所在する。</p> <p>奈良盆地周辺や金剛生駒国定公園内の国有林は、都市住民の保健休養の場として広く親しまれており、自然環境の維持、保全、また公益的機能の発揮への要請も高い。</p> <p>これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>1 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>131 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	1 (ha)		保育面積	131 (ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	1 (ha)													
	保育面積	131 (ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用（C）	37,518千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>482,488千円</td> </tr> <tr> <td>国土保全便益</td> <td>187,686千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>7,523千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>18,192千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>695,889千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	482,488千円	国土保全便益	187,686千円	環境保全便益	7,523千円	木材生産便益	18,192千円	森林整備経費縮減等便益	千円	計	695,889千円
	水源かん養便益	482,488千円													
国土保全便益	187,686千円														
環境保全便益	7,523千円														
木材生産便益	18,192千円														
森林整備経費縮減等便益	千円														
計	695,889千円														
分析結果（B/C）	18.55														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	斐伊川森林計画区（ひいかわ） （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署												
事業の概要・目的	<p>斐伊川森林計画区は、7,380haの国有林野を対象としており、島根県東部に散在している。</p> <p>当該計画区の国有林は、水源かん養林が73%を占め脊梁部の国有林は下流域の水源かん養機能の確保に重要な役割を担っている。</p> <p>また、南西部の三瓶山国有林は、大山隠岐国定公園の一部に指定され、豊かな森林景観と豊富な観光資源に恵まれていることから、自然環境の維持保全等、公益的機能の発揮への要請も高い。</p> <p>これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>684(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.6(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.4(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	(ha)		保育面積	684(ha)	路網整備	開設延長	2.6(km)		改良延長	0.4(km)
森林整備	更新面積	(ha)													
	保育面積	684(ha)													
路網整備	開設延長	2.6(km)													
	改良延長	0.4(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	339,281千円													
	総便益(B)	1,521,757千円													
		2,743,273千円													
	水源かん養便益	1,521,757千円													
	国土保全便益	523,013千円													
	環境保全便益	53,683千円													
	木材生産便益	571,429千円													
	森林整備経費縮減等便益	73,391千円													
	計	2,743,273千円													
	分析結果(B/C)	8.09													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	吉井川森林計画区 （よしいがわ） （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署																
事業の概要・目的	<p>吉井川森林計画区は、11,589haの国有林野を対象としており、林分内容はスギ・ヒノキの人工林率が高く、優秀な木材生産の場として木材の安定的供給の要請が高い。</p> <p>都市近郊林に所在する国有林は、都市住民の保健休養の場として重要な役割を果たしているとともに、北部の国有林は、氷ノ山後山那岐山国定公園の一部となっており、自然環境の維持、保全への要請が高い。</p> <p>また、脊梁部の水源地域は、下流平野部の水源かん養に重要な役割を果たしており、公益的機能の発揮への要請も高い。</p> <p>これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>36 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,145 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.4 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.3 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	36 (ha)			保育面積	2,145 (ha)		路網整備	開設延長	2.4 (km)			改良延長	1.3 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	36 (ha)																
		保育面積	2,145 (ha)																
	路網整備	開設延長	2.4 (km)																
		改良延長	1.3 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	730,292千円																	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,152,532千円																
		国土保全便益	1,355,798千円																
		環境保全便益	136,234千円																
		木材生産便益	1,009,593千円																
		森林整備経費縮減等便益	132,544千円																
		計	5,786,701千円																
	分析結果（B/C）	7.92																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	萩森林計画区（はぎ） （山口県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>萩森林計画区は、2,408haの国有林野を対象としている。 日本海沿岸部は、木材生産機能が強く、内陸部は水源かん養機能が高い森林であり、一部に長門峡自然公園の指定地を含み、公益的機能の発揮とともに自然環境の維持、保全への要請が高い。 これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>5 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>339 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.6 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	5 (ha)		保育面積	339 (ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	1.6 (km)
森林整備	更新面積	5 (ha)													
	保育面積	339 (ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	1.6 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	92,633千円													
	総便益（B）	<table> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>756,896千円</td> </tr> <tr> <td>国土保全便益</td> <td>270,094千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>25,109千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>98,143千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>3,639千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,153,881千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	756,896千円	国土保全便益	270,094千円	環境保全便益	25,109千円	木材生産便益	98,143千円	森林整備経費縮減等便益	3,639千円	計	1,153,881千円
	水源かん養便益	756,896千円													
国土保全便益	270,094千円														
環境保全便益	25,109千円														
木材生産便益	98,143千円														
森林整備経費縮減等便益	3,639千円														
計	1,153,881千円														
分析結果（B/C）	12.46														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	肱川森林計画区(ひじかわ) (愛媛県)	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署												
事業の概要・目的	<p>肱川森林計画区は、愛媛県西部に所在する1,063haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等(奥地林・里山林)は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>0(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>0(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.0(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.2(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	0(ha)		保育面積	0(ha)	路網整備	開設延長	2.0(km)		改良延長	1.2(km)
森林整備	更新面積	0(ha)													
	保育面積	0(ha)													
路網整備	開設延長	2.0(km)													
	改良延長	1.2(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	132,990千円													
	総便益(B)	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>106,045千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>128,397千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>234,442千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	0千円	山地保全便益	0千円	環境保全便益	0千円	木材生産便益	106,045千円	森林整備経費縮減等便益	128,397千円	計	234,442千円
	水源かん養便益	0千円													
山地保全便益	0千円														
環境保全便益	0千円														
木材生産便益	106,045千円														
森林整備経費縮減等便益	128,397千円														
計	234,442千円														
分析結果(B/C)	1.76														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	安芸森林計画区（あき） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 安芸森林管理署												
事業の概要・目的	<p>安芸森林計画区は、高知県東部に所在する29,035haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>208 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,831 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>13.8 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>42.5 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	208 (ha)		保育面積	1,831 (ha)	路網整備	開設延長	13.8 (km)		改良延長	42.5 (km)
森林整備	更新面積	208 (ha)													
	保育面積	1,831 (ha)													
路網整備	開設延長	13.8 (km)													
	改良延長	42.5 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	997,829千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>788,674千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>176,452千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>26,206千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>2,380,798千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>387,372千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,759,502千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	788,674千円	山地保全便益	176,452千円	環境保全便益	26,206千円	木材生産便益	2,380,798千円	森林整備経費縮減等便益	387,372千円	計	3,759,502千円
	水源かん養便益	788,674千円													
山地保全便益	176,452千円														
環境保全便益	26,206千円														
木材生産便益	2,380,798千円														
森林整備経費縮減等便益	387,372千円														
計	3,759,502千円														
分析結果（B/C）	3.77														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	佐賀西部森林計画区 （さがせいぶ） （佐賀県）	事業実施主体	九州森林管理局 佐賀森林管理署												
事業の概要・目的	<p>佐賀西部森林計画区は、佐賀県西部に所在する5,190haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>7(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>159(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.0(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4.5(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	7(ha)		保育面積	159(ha)	路網整備	開設延長	2.0(km)		改良延長	4.5(km)
森林整備	更新面積	7(ha)													
	保育面積	159(ha)													
路網整備	開設延長	2.0(km)													
	改良延長	4.5(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	155,141千円													
	総便益(B)	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>208,175千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>60,384千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>7,979千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>298,774千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>171,710千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>747,022千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	208,175千円	山地保全便益	60,384千円	環境保全便益	7,979千円	木材生産便益	298,774千円	森林整備経費縮減等便益	171,710千円	計	747,022千円
	水源かん養便益	208,175千円													
山地保全便益	60,384千円														
環境保全便益	7,979千円														
木材生産便益	298,774千円														
森林整備経費縮減等便益	171,710千円														
計	747,022千円														
分析結果(B/C)	4.82														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	長崎北部森林計画区 （ながさきほくぶ） （長崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 長崎森林管理署												
事業の概要・目的	<p>長崎北部森林計画区は、長崎県北部を中心に所在する2,378haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>11 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>155 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	11 (ha)		保育面積	155 (ha)	路網整備	開設延長	0.3 (km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	11 (ha)													
	保育面積	155 (ha)													
路網整備	開設延長	0.3 (km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用（C）	66,934千円													
	総便益（B）	<table> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>249,946千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>62,307千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>7,731千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>59,438千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>16,378千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>395,800千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	249,946千円	山地保全便益	62,307千円	環境保全便益	7,731千円	木材生産便益	59,438千円	森林整備経費縮減等便益	16,378千円	計	395,800千円
	水源かん養便益	249,946千円													
山地保全便益	62,307千円														
環境保全便益	7,731千円														
木材生産便益	59,438千円														
森林整備経費縮減等便益	16,378千円														
計	395,800千円														
分析結果（B/C）	5.91														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	球磨川森林計画区(くまがわ) (熊本県)	事業実施主体	九州森林管理局 熊本南部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>球磨川森林計画区は、熊本県南部を中心に所在する37,071haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等(奥地林・里山林)は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>314(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,426(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>11.9(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>35.4(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	314(ha)		保育面積	1,426(ha)	路網整備	開設延長	11.9(km)		改良延長	35.4(km)
森林整備	更新面積	314(ha)													
	保育面積	1,426(ha)													
路網整備	開設延長	11.9(km)													
	改良延長	35.4(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	997,206千円													
	総便益(B)	水源かん養便益	1,106,471千円												
		山地保全便益	364,060千円												
		環境保全便益	71,146千円												
		木材生産便益	2,096,688千円												
		森林整備経費縮減等便益	789,563千円												
		計	4,427,928千円												
	分析結果(B/C)	4.44													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	大分西部森林計画区 （おおいたせいぶ） （大分県）	事業実施主体	九州森林管理局 大分西部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>大分西部森林計画区は、大分県西部を中心に所在する7,847haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>50 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>626 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.2 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.8 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	50 (ha)		保育面積	626 (ha)	路網整備	開設延長	1.2 (km)		改良延長	0.8 (km)
森林整備	更新面積	50 (ha)													
	保育面積	626 (ha)													
路網整備	開設延長	1.2 (km)													
	改良延長	0.8 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	259,103千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>758,873千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>262,153千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>34,937千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>239,317千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>106,388千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,401,668千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	758,873千円	山地保全便益	262,153千円	環境保全便益	34,937千円	木材生産便益	239,317千円	森林整備経費縮減等便益	106,388千円	計	1,401,668千円
	水源かん養便益	758,873千円													
山地保全便益	262,153千円														
環境保全便益	34,937千円														
木材生産便益	239,317千円														
森林整備経費縮減等便益	106,388千円														
計	1,401,668千円														
分析結果（B/C）	5.41														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	大淀川森林計画区 （おおよどがわ） （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署												
事業の概要・目的	<p>大淀川森林計画区は、宮崎県中部を中心に所在する89,631haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>369 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,742 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>23.1 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>31.8 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	369 (ha)		保育面積	2,742 (ha)	路網整備	開設延長	23.1 (km)		改良延長	31.8 (km)
森林整備	更新面積	369 (ha)													
	保育面積	2,742 (ha)													
路網整備	開設延長	23.1 (km)													
	改良延長	31.8 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	934,974千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,575,169千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>340,315千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>67,133千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>5,368,421千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>4,391,080千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,742,118千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,575,169千円	山地保全便益	340,315千円	環境保全便益	67,133千円	木材生産便益	5,368,421千円	森林整備経費縮減等便益	4,391,080千円	計	11,742,118千円
	水源かん養便益	1,575,169千円													
山地保全便益	340,315千円														
環境保全便益	67,133千円														
木材生産便益	5,368,421千円														
森林整備経費縮減等便益	4,391,080千円														
計	11,742,118千円														
分析結果（B/C）	12.56														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	大淀川森林計画区 （おおよどがわ） （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署 都城支署												
事業の概要・目的	<p>大淀川森林計画区は、宮崎県中部を中心に所在する89,631haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>469 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,478 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.2 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.0 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	469 (ha)		保育面積	2,478 (ha)	路網整備	開設延長	4.2 (km)		改良延長	3.0 (km)
森林整備	更新面積	469 (ha)													
	保育面積	2,478 (ha)													
路網整備	開設延長	4.2 (km)													
	改良延長	3.0 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	751,896千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,389,366千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>300,173千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>53,587千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>1,041,334千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>798,378千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,582,838千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,389,366千円	山地保全便益	300,173千円	環境保全便益	53,587千円	木材生産便益	1,041,334千円	森林整備経費縮減等便益	798,378千円	計	3,582,838千円
	水源かん養便益	1,389,366千円													
山地保全便益	300,173千円														
環境保全便益	53,587千円														
木材生産便益	1,041,334千円														
森林整備経費縮減等便益	798,378千円														
計	3,582,838千円														
分析結果（B/C）	4.77														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	大隅森林計画区（おおすみ） （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 大隅森林管理署												
事業の概要・目的	<p>大隅森林計画区は、鹿児島県大隅半島を中心に所在する48,975haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>234 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,471 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>8.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>26.7 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	234 (ha)		保育面積	1,471 (ha)	路網整備	開設延長	8.3 (km)		改良延長	26.7 (km)
森林整備	更新面積	234 (ha)													
	保育面積	1,471 (ha)													
路網整備	開設延長	8.3 (km)													
	改良延長	26.7 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	785,208千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,211,312千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>318,182千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>48,409千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>2,136,640千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>1,229,432千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,943,975千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,211,312千円	山地保全便益	318,182千円	環境保全便益	48,409千円	木材生産便益	2,136,640千円	森林整備経費縮減等便益	1,229,432千円	計	4,943,975千円
	水源かん養便益	1,211,312千円													
山地保全便益	318,182千円														
環境保全便益	48,409千円														
木材生産便益	2,136,640千円														
森林整備経費縮減等便益	1,229,432千円														
計	4,943,975千円														
分析結果（B/C）	6.30														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														